

地域を
変える
チカラに

地域おこし
協力隊

活動報告



近藤 千恵子さん

園田 欣大さん

地域おこし協力隊の新メンバー近藤です。こちらに来て2ヶ月たちました。

まずは未知の世界『肝付町』を知るべく、地図に載っている名所をめぐり美しい風景をみて、地元の美味しいものを食べて、日々を満喫しています。

先日、高山中学校の宿泊学習で、地域おこし協力隊の時間をいただき、各メンバーが居住する地域の文化や伝統・特産品などをクイズ形式で紹介しました。生徒さんは、自分が住んでいる高山地区のことは知っているけど、少し離れた内之浦地区で有名な『ロケット祭り』や『ドヤドヤサー』、岸良地区の『ナゴシドン』を観たことがないという人が多く、私たちの説明を真剣に聴いてメモを取る姿が印象的でした。また、きちんと理由を考えて解答していて、疑問に思ったことは質問するなど積極的で（こちらが説明に困るような場面もありましたが）、私にとっても肝付町の風土や歴史を深く知る大変よい機会になりました。生徒の皆さんに負けないように、私もこの町の良いところをたくさん学んで、多くの人に伝えられるように頑張りますね！！

内之浦で私が取り組んでいる「宙(そら)ハウス」について、ご紹介します。

若手移住者が最初に住む家となることを目指して、昨年末に改装費用の寄付を募り、これまで個室やキッチンなど共用エリアを改装してきました。まだ備品故障や雨漏り等がときどき発生したりするため、日々修繕しながらより良い場所になるよう努めています。

日本の隅っこ大隅半島に移住する場合は引っ越し費用が高額であり、また空き家にいきなり引っ越すのは不安だという若い移住希望者に対して、移住ハードルが下がり移住促進に繋がったらなと思っています。今年は関東で行われる移住フェアなどに何度か参加して住人募集を行っていく予定です。

寄付いただいた方や施設見学者など町外から訪問される方も徐々に増えてきています。内之浦がもっと賑やかになることを夢みて、頑張っていきます。

全く別の話ですが、先日初めて小串地区に行きました。段々の水田や畑、道路沿いの草木などは地域の方がきれいに整備されているようで、人の手が加えられた自然が美しく、さらに奥には海が見えて、とても素敵な景色の地域でした。